

国立地域振興タイムス vol. 34

指定企業紹介特集 いま市内には南部地域を中心に10社の指定企業が立地しています。本号では指定企業第5号及び第8号の指定を受けた『東京多摩青果(株)』の事業内容や地域活動などをレポートします。

安心・安全かつ新鮮でおいしい青果物を消費者に提供する

東京多摩青果株式会社

地域の人々の「食」を支える

トップクラスの物流システム

東京多摩青果株式会社は野菜・果物を取扱う青果市場で、日本全国の生産者から集めた野菜や果物を仲卸業者や小売店に販売する卸売会社です。中央道の国立府中インターチェンジの隣地に位置し、交通利便性の高い全国有数の市場となっています。



全国から集まった野菜や果物

同社の主な業務は、生産者が一生懸命に育て上げた青果物を仲卸業者や量販店、小売店に適正な価格で販売することです。『できるだけ高く売りたい生産者』と『できるだけ安く買いたい仲卸業者・小売業者』の間にたち、青果物の生産コストを念頭におきながら、販売時点の需給バランスや青果物の品質等を考慮したうえで、適正な価格を決定し、販売しています。



小売業者が青果物を積込む様子

産地で収穫された青果物は、船や飛行機、そしてトラックに載せられて、主に夜間に市場に運ばれてきます。市場は24時間365日稼働しており、到着した青果物はまず冷蔵倉庫に入庫されます。同社の物流システムは、国内市場の中でもトップクラスであり、入庫から出庫までをコンピュータで一円管理しています。異なる温度帯での冷蔵が可能な立体冷蔵自動倉庫や各荷捌場へのコンベアによる自動搬送、商品のバーコード管理など、変化し



バーコード管理

続ける時代のニーズに対応した施設となっています。

地域の人々の「食」を支える青果市場は、一般の方が立ち入る機会は少ないですが、日々、日本全国の生産地から青果物が届き、多数の量販店や小売店が仕入れに来るマーケットです。現在は、よくテレビで見るとような「競り」はほとんどありませんが、大量の青果物が到着しては販売されていく様子は活気に満ちています。



自動搬送システム



休みなく疾走するフォークリフト

環境にやさしい緑化の取り組み

四季を感じる市場

同社は「緑化」に力を入れています。敷地内は多くの木や花で彩られています。ツツジやアジサイ、サルスベリのほか、正面玄関前には、青果物だけでなく四季折々の花が植えられ、木々や花々を通して季節の流を感じるすることができます。



地域社会に貢献するさまざまな取り組み

職場体験・食育・青果まつり etc

近隣の小中学校を対象に社会科見学や職場体験の受け入れ、食育活動などを行っています。社会科見学では、市場の仕組みや役割を楽しく学べるように考案された、

ふちょう
“符牒”（商品を購入するための値段を示す隠語）を使用したゲームが児童たちに好評です。昨年11月の市主催イベント



職場体験でミカンを梱包

『やほ歴史探訪&たま青果市場探検団』では「おいしいミカンの見分け方」をプロが市民に伝授しました。職場体験では、場内併設のパッケージセンターで、青果物の包装業務を実際に体験することができます。また、近隣の保育園や幼稚園を対象とした食育活動では、園児にも青果物のことが理解しやすいよう、紙芝居形式で青果物の栽培過程や栄養成分などの説明を行っています。



紙芝居に夢中の園児たち

国立市場において例年10月に開催される、食育の普及を目的とした『青果まつり』は、一般の方々も入場できる楽しいお祭りです。会場内では地元の八百屋さんによる豚汁や焼きそばなどの模擬店販売や、野菜や果物の即売会のほか、来場者参加型のピンゴゲームなども行われ、毎年多くの地域住民の皆様で賑わっています。



青果まつりの模擬店

毎日頑張る若手スタッフ

従業員からひとこと

【開発課】惣万智帆（そうまん ちほ）さん

営業担当者に同行して産地やスーパーなどへ行き、特産品を揃えた〇〇県フェアや、旬の食材を提供する△△フェアなどの企画・提案を行っています。スーパーなどで、自分が担当したフェアが開催され青果物が並んでいるのを目にしたときは、嬉しさはもちろん、達成感に満たされます。これからも旬の青果物や新品種などを少しでも多くのスーパーに並べ、消費者の皆様喜んで頂けるよう頑張ります。



【野菜部】瀧口史也（たきぐち ふみや）さん

市場には日本全国各地から様々な青果物が集まります。青果物は、品種はもちろん、産地によって味も特徴も異なります。そのため、各産地の青果物を食し、細かな違いを把握することで、量販店を通して消費者の皆様の要望に沿った青果物を提供出来るよう日々努めています。



東京多摩青果 本社・国立市場を望む

東京多摩青果について



くにたちとの関わり

- 東京多摩青果(株)は、昭和22年に創立。昭和48年に国立市谷保に南部支店を開場し、多摩地区を主たるエリアとする青果市場として、多年にわたって国立市と共に歩んできました。
- 流通の大型化、食の安心安全の確保などに対応できる市場づくりのため、平成18年11月に、もともと三鷹にあった本社機能を、交通利便性の高い国立市場に移転しました。
- また、青果物の鮮度管理の向上、物流の効率化等を目的として、低温倉庫棟を新設整備し、第1チルド倉庫棟が平成23年6月に企業誘致指定第5号として、第2チルド倉庫棟が平成24年7月に企業誘致指定第8号の認定を受けています。



会社概要

- 社名 東京多摩青果株式会社
- 設立 昭和22年5月21日
- 資本金 4億2,000万円
- 代表者 代表取締役社長 柏 武彦
- 従業員数 249名（正社員：男性184名・女性65名）
- 事業内容 全国内産及び輸入外国産生鮮野菜・果実の集荷販売、量販店等への企画提案、生産地への商品開発等を行う
- 所在地
[本社] 東京都国立市谷保6丁目2番地の1
[北部支店] 東京都東久留米市下里6-4-1